

2-② 地域資源（ひと・もの・こと）をつなごう

■対象：地域住民 ■人数：20人 ■時間：110分程度 ■手法：ラベルワーク

学習のねらい 地域資源（ひと・もの・こと）を出し合い、連携・協働の視点で見つめ直すことで、地域資源の新たな活用方法を考えることができる。

時間	学習の流れ	留意点	準備物
	<p>【はじめに】</p> <p>今、お住まいの地域（あるいは、職場のある地域）には、多くの地域資源「ひと」「もの」「こと」が存在します。今日は、みなさんと一緒に、それらの地域資源を見つめ直し、活用していく方法を考えていきます。その前に少し心と体をほぐしましょう。</p>		
20分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>① じゃんけんファイブ ② セーの、パン！ ③ 自己紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的に4人になるようグループ分けをする。 ・「所属」「名前」「思い出の場所」で自己紹介。 	
75分	<p>《はじめにルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>① 個人で付箋に地域の「ひと」(ピンク)、「もの」(青)、「こと」(黄)を書く [10分]</p> <p>② グループで3色付箋を紹介しあう (ピンク→青→黄) [15分]</p> <p>③ 個々で地域に存在する「ひと」「もの」「こと」を結びつけて、できる事業や、やってみたい活動案を考える [20分]</p> <p>④ グループ内で自分の考えを発表し合う [15分]</p> <p>⑤ 全体に活動案を発表する [15分]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色別に分けて、順番に一言添えて、模造紙にはるよう伝える。 ・すでに連携・協働している活動に、新たに地域資源を加える方法や地域にある資源を結びつけて、新たな連携・協働を考える方法があることを紹介する。 ・「子ども」と「大人」、それぞれにとって、どのような効果が期待できるかを考えるよう伝える。 ・グループ内の意見を聞きながら、全体に紹介したい活動案を考えておくように伝える。 	<p>3色付箋 (ピンク・青・黄) 模造紙 色マーカー ワークシート</p>
15分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>① ふり返しシートに「心に残っているキーワード」を書く [2分]</p> <p>② グループ内で発表する [5分]</p> <p>③ 全体に発表する [8分]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく短く簡単に書くように伝える。漢字1字でもイラストでもよい。 ・時間がなければ数名を指名する。 	<p>ふりかえりシート バインダー</p>
	<p>【おわりに】</p> <p>いかがでしたか。何気なく見たり、見逃したりしている地域資源に気づいたと思います。新しいことを始めるだけでなく、今あるものに少し足したり、組み合わせを工夫したりすることも一つの方法だと思います。今日みなさんで考えたことをヒントに、「ひと」「もの」「こと」を結びつけた新たな活動に取り組んでみてはいかがでしょうか。</p>		

【ひと】

【もの】

【こと】

効果的な連携・協働が期待できる活動内容（案）

子どもに期待する効果

大人に期待する効果

2-2 地域資源（ひと・もの・こと）をつなごう ワークシート成果物イメージ参考例

【ひと】

- ・ 釣具屋
- ・ 釣り名人

【もの】

- ・ 魚
- ・ 岩場
- ・ 貸し竿

【こと】

- ・ 釣り大会

効果的な連携・協働が期待できる活動内容（案）

かつちゃん杯 釣り大会

大物賞・大量賞・多種目賞

子どもに期待する効果

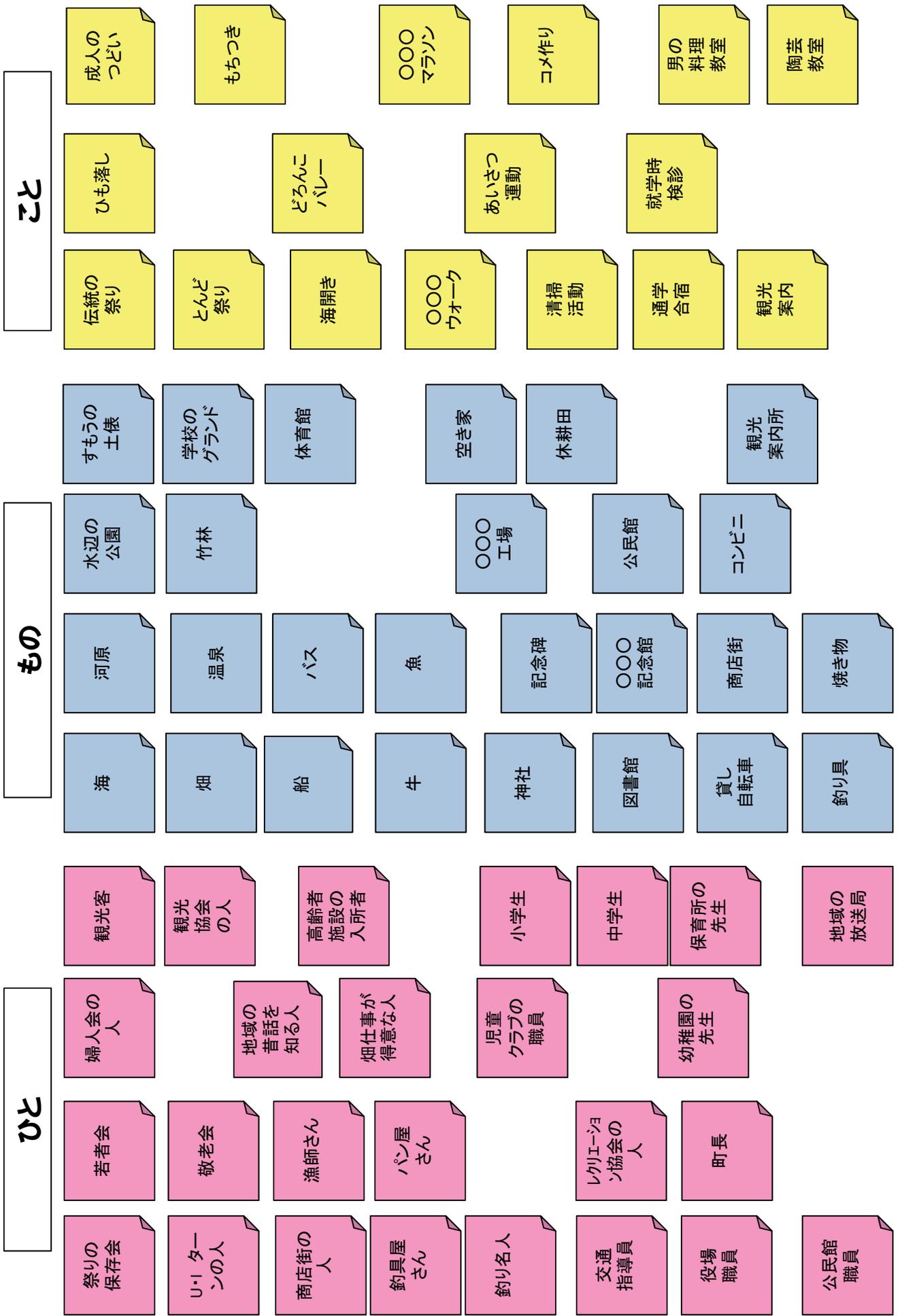
- ・ 魚の釣り方がわかる
- ・ 釣り名人のすごさがわかる
- ・ 魚の名前を知る

大人に期待する効果

- ・ 子どもに教えることの楽しさを感じる
- ・ 子どもが釣り上げたことに喜びを感じる
- ・ 自分の技術が生かせ自尊感情が高まる



2-② 地域資源(ひと・もの・こと)をつなごう 模造紙成果物イメージ参考例



地域資源の活用を考える